

















浦添市指定文化財

天然記念物 屋富祖の御願所のカジユマル

カジユマルは琉球列島から南に分布するクワ科の常緑高木です。一般に低地や石灰岩地帯に生育する樹木で幹や枝から多数の気根が垂れ下がり、地中に入ると支柱根となるのが特徴です。

屋富祖の御願所のカジユマルは、高さ十三メートル、幹の直径一・三メートル、樹冠の広がり直径二二メートルもあり、樹齢は百年を超える老樹です。

屋富祖の殿（トウン）の庭に生えているのが「御願所のカジユマル」と呼ばれ、親しまれています。

浦添は、戦時中激戦地で焼け野原となりましたが、このカジユマルは戦時中にも生き残り、土壌に残りました。

平成十一年三月五日指定
浦添市教育委員会

































































































